

## 平成18年度 商学会活動報告

### 1. 定年退職記念号贈呈式

6月29日（木）12時20分より、1号館8階中会議室にて商経論叢（第46巻第3号）の定年退職記念号の贈呈式が開催された。定年退職記念号は、石原定和先生、田原榮一先生を対象としたもので、平成18年3月26日に発行された。

贈呈式は、秋山哲男学部長（商学会長）の挨拶に始まり、石原先生、田原先生にもスピーチしていただいた。その後、小会議室に移動し、先生方を囲んだ昼食会が、両先生のお話をうかがいながら和やかな雰囲気のもと行われた。

### 2. 商学会主催講演会

平成18年度の講演会は2件であった。今年度は、実務に携わる諸氏にお話いただいた。学生はもちろん、教員にとっても実務で活躍する方々にお話をうかがう貴重な機会である。来年度以降も充実させたい。

平成18年度 商学会講演会	
①	「薬物乱用防止及び学生に係る諸事件について」 財団法人福岡県暴力追放運動推進センター事務局長 清水芳昭氏
②	12月22日（金） 14：30～15：30 1号館S201教室 「スターフライヤーの経営戦略と将来ビジョン」 (株) スターフライヤー 常務取締役営業本部長 武藤康史氏

### 3. 商学会研究会（国外研修者研究報告）

2月13日（火）14時30分から1号館8階中会議室にて研究会を開催した。研究会では、国外研修に行かれた平野英一先生（平成17年度長期国外研修：スウェーデン）と、横山秀司先生（平成18年度中期国外研修：オーストリア等）の報告が行われた。

両先生とも、研修先での研究成果を中心に報告された。研究会には多数の教員が出席し、闊達な質疑応答がなされた。

平成18年度 商学会研究会	
①	14時30分～15時30分 平野英一先生 「スウェーデン人の豊かな生活の源泉?スウェーデンから日本は何を学ぶべきか?
②	15時35分～16時35分 横山秀司先生 「アルプスの景観と観光」

#### 4. 商学部グループ研究発表会

##### 4-1. 第4回商学部グループ研究発表会概要

12月9日(土) 12時15分より、第3回商学部グループ研究発表会が開催された。今年度の参加グループ数は28であり、発表者数は130名を超えた。そのため、昨年度よりも分科会を増やし5分科会とした。また、報告内容を充実させるために、報告時間は昨年度よりも長い20分、質疑応答は20分で行った。

さらに、今年度は審査委員として、本学教員に加え、外部から実務家の方々をお呼びした。教員による理論的視点に、実務的視点加わることで審査を充実させた。外部審査員の参加は、報告する学生たちにとっても刺激となったようである。

加えて、参加グループが、報告テーマに沿った報告要旨(A4用紙2ページ)を作成し、それを抄録集としてまとめた。これは、学生の研究成果を冊子として残すことを目的とするものである。

## ◇第1分科会 (N301教室)

審査員：高田和宏先生、高木昇先生

司会・学生審査員：田上雄一朗氏・谷口勝俊氏

第1報告	粉飾決算に見る会計士の問題 堀田浩志・土井衛・任非・川久保加奈子・小串美穂・表亜沙美
第2報告	新福岡空港は必要か！？ 岡田・星・眞子・後根・川村・納田
第3報告	中小企業の会計～これからの中小企業の会計基準はどうあるべきか～ 手島亮太・藤井優・藤本淳平・松下みゆき
第4報告	LOHAS～LOHASなツアーへ～ 北川和明・工藤千奈・小島照華・タパ クリシュナ・羽野麻子
第5報告	今日の戦略的提携の背景～日韓企業における戦略的提携の動向を中心に～ 篠原崇宏・益田浩瑛・高崎絢子・東郷なつみ
第6報告	観光業界に新規参入～FreeDVD～ 岡田大地・下田康志・津石真理子・葛岡励加・藤岡未来

## ◇第2分科会 (N302教室)

審査員：二階堂正憲先生、平野英一先生

司会・学生審査員：堀山雅充氏、山根裕喜氏

第1報告	中小製造業のマーケティング戦略のあり方 佐藤健太・安武志規・田代小百合
第2報告	携帯電話事業の買収戦略について～ソフトバンクのポータフォン買収～ 坂本貴志・鮫島圭希・後藤亜弓・小浦亜実華
第3報告	赤字一直線のオリンピック 石田博之・古賀晶子・川久保みゆき・三浦成大・御園生歩美
第4報告	利益を生み出す方法～香椎祭に出店して～ 河合宏紀・駒井力也・酒井拓也・佐々木孝・辻将平・宮津良之輔・安松亨
第5報告	新会計基準の導入に見る会計情報の与える影響 伊藤友見・塩出小百合・上滝麻以・塚本武三・中村将義・野元克洋
第6報告	auの快進撃～圧倒的なリーダーに対抗するチャレンジャーの有効な競争戦略とは？～ 野田貴久・濱田健太・藤江直人・淵ノ上裕一朗

◇第3分科会 (S302教室)

審査員：金子順一先生、森高正博先生

司会・学生審査員：川島一仁氏、松本智子氏

第1報告	ありがとうSHOP袋～SHOP袋の秘密～ 内田秀美・河野美幸・マガリ ロドリゲス ヒラカワ・三原慶子・諸岡美和
第2報告	食と観光～成功事例を九州に活かせ～ 中西亮・西依裕元・竹森昭次郎・鄭壬淑
第3報告	少子化による年金制度の改善策 原田勇生・宮ノ脇雅人・平山祐司・吉野耕一朗・大神拓也
第4報告	観光におけるユニバーサルデザインの現状と課題 森安由佳・中村想太・金秀珍・金鎮錫
第5報告	ありのままで～島根にみる地域観光の在り方～ 古賀美智子・高野恵子・玉木圭一郎・中村秋恵・長坂和也・保田貴志
第6報告	日本が関係する領土問題の解決方法について 森悦軌・朝川幸樹・入江陽介・江藤淳

◇第4分科会 (S304教室)

審査員：篠原治二先生、三浦弘次先生

司会・学生審査員：緒方薫氏、佐々木孝氏

第1報告	地域活性化と観光地づくり～未来への道標～ 宮崎・山本・柳・西川・長野・佐藤
第2報告	ハウステンボスの挑戦～テーマパークから街へ～ 片山裕子・重岡阿貴・澄川真弥・中江啓徳・福留浩平・峯松可奈
第3報告	ブランド価値－価格の差からみるブランド価値－ 古賀健・小崎弘樹・花田洋佑・林達矢・三原良介
第4報告	会計基準の国際化について 石川勝貴・所賀梨央・諏訪千晶・高田由紀子・長秀一・宮川和之
第5報告	中小企業の後継者問題について 住原秀和・園部奨・宮崎孝志・大坪陽太

## ◇第5分科会 (S305教室)

審査員：深森芳昭先生、山田秀先生

司会・学生審査員：坂井咲子氏、中田巖大氏

第1報告	飲酒運転～現状と対策～ 安田洋士・渡邊亮介・山崎史智・塚本智史・小野紘平
第2報告	粉飾事件について～カネボウ・ライブドアの事例に基づいて～ 今村元気・岩本智道・樫本幸樹・宿里大輔
第3報告	中古教科書売買支援システム・リブックスの改善について 緒方薫・吉田奨・中原徹也・鶴祐一郎・コーネット サニー
第4報告	わが国の若年層における勤労問題～ニートについて～ 木塚勝也・渋谷恭典・要奨太・杉正道
第5報告	福岡の都市観光と交通～九州の玄関口から観光拠点へ～ 板谷美香・岩下悦子・菊屋令・小濱壮介・下野なつみ・藤岡慶樹

## 4-2. 最優秀賞、優秀賞、特別賞の審査基準および受賞グループ

各分科会の2名の審査員（外部審査員1名、内部審査員1名）が、学生の各報告に対して、①抄録集の内容、②当日の報告内容、③プレゼンテーション技術（質疑応答含む）、④報告時の報告資料（パワーポイント）の4項目について、各5点満点で採点した。また、今年度から新しく学生審査員（司会およびタイムキーパーと兼務）が設置された。学生審査員は、①抄録集の内容、②プレゼンテーション技術（質疑応答含む）、③報告時の報告資料（パワーポイント）の3項目について、各3点満点で採点した。

審査員による採点結果を集計し、分科会ごとにもっとも点数の高い報告に最優秀賞、2番目に点数の高い報告に優秀賞を授与した。また、学生審査員による採点結果も集計し、同じく分科会ごとにもっとも点数の高い報告に特別賞を授与した。ただし、学生審査員による採点結果が、審査員による最優秀賞または優秀賞と同一である場合には、次点の報告を特別賞とした。これは、できるだけ多くの報告に受賞の機会を与えたいという趣旨によるものである。